

周防大島町 議会だより

2017・7

第50号

発行／周防大島町議会

〒742-2192

周防大島町大字小松 126-2

TEL:0820-74-1003(議会事務局)

編集／議会広報編集特別委員会

印刷／(有)日良居タイムス

今回の主な内容

- 臨時会・6月定例会概要 …… 2P
- 一般質問（4人登壇） …… 4～7P
- 防災コーナー …… 8P
- 議会活動報告 …… 10～11P
- 東京大島ふるさと会・編集後記 …… 12P



片添ヶ浜と逗子ヶ浜の両海水浴場で、6月30日に海開きが行われました。

安全祈願祭の神事後、町内の保育園児が初泳ぎを楽しみました。当日の朝は雨模様でしたが、よい天気になり、元気な声が響きました。

子どもたちにとって、安全で楽しい夏になりますように。いよいよ夏本番を迎えました。

臨時会の概要

平成29年第1回臨時会を6月5日に開催しました。

本臨時会では、平成28年度「一般会計」、「簡易水道事業」及び「下水道事業」の特別会計、「公営企業局企業会計」の予算繰越額にかかる報告、専決処分では「周防大島町税条例・固定資産税の課税免除に関する条例・国民健康保険税条例」それぞれの一部改正、請負契約の締結に関しては「東和総合支所・教育庁舎建築工事」、「久賀・大島処理区（三浦）管路施設整備工事第1工区」が上程され審議されました。

また、病院事業管理者の石原得博氏の再任も報告され、石原管理者からは、より一層の地域医療の充実と公共福祉の増進についての挨拶がありました。

臨時会に上程されたすべての議案は原案のとおり可決され閉会となりました。

6月定例会概要

平成29年第2回定例会を6月21日から27日までの7日間の会期で開催しました。

初日には椎木町長より、白木半島における「やまぐち元気生活圏づくり」に向けた取り組み、「サテライトオフィス設置に係る協定書の調印」、「町内の郵便

局との地域活性化包括連携協定の締結」、「平成28年度の各会計の決算見込み」、「岩国基地に係る安心・安全対策と地域振興策」、以上5件の行政報告があ

り、その後に各議案の説明と質疑が行われました。

議案の概要については、周防大島町農業委員会の委員の選任同意が14件、平成29年度一般会計補正予算は、既定の予算に7,285万6千円を追加し、総額を139億1,285万6千円とする。

また、病院等事業の設置等に関する条例の一部改正（病床数の削減）、町道路線の認定（西三浦の明神松水福支線）、動産の買入れ（笠佐島し尿収集運搬車）、これら18件が上程され、一般会計補正予算を除く案件を採決しました。

そして、23日の一般質問では4名の議員が登壇し、「海洋センタープールの温水化、子供達の安全確保、橘総合センター駐車場一帯の冠水対策、保育料の完全無償化、ゴミの不法投棄対策、情報公開条例の運用、公共事業のマネジメント、公共施設の管理方法の統一、職員の接遇力向上、指定管理者の公募、公共施設の利用、暮らしの便利帳の発行、岩国基地への空母艦載

機移駐計画、中学校の統合計画」これらについて活発な議論が交わされました。

最終日の27日には、平成29年度一般会計補正予算を討論・採決。また、岩国基地関連対策特別委員会から提出された意見書については、始めに久保委員長から発委趣旨説明があり、その後、質疑・討論・採決が行われ、本定例会に上程されたすべての議案は原案のとおり可決のうえ閉会となりました。



笠佐島の集落（飯の山展望台からの眺望）

岩国基地への空母艦載機の移駐に関する意見書

記

平成17年に明らかにされた空母艦載機部隊の厚木基地から岩国基地への移駐計画について、

本町議会は、基地機能の拡大・強化やNLPの実施につながる懸念があることから、これを行わないよう国に強く要望し、その後、我々議会、行政、地域住民は10年以上にわたり対応に苦慮してきたところである。

こうした中、本年1月20日、国から、空母艦載機部隊の具体的な移駐時期や機種・機数等が示され、周防大島町においては、騒音予測70W以上となる区域が拡大するものの、国や米側の対策も確認できたことから、「騒音や安全性等の面で基地周辺住民の生活環境は悪化するとまでは言えない。」また、「NLP」について、「恒常的な訓練施設は鹿児島県馬毛島を候補地として検討を進めてきており、施設が特定されるまでの間、引き続き硫黄島で実施する」ことを確認するなど、改めて一定の整理が

なされたことから、基地機能の強化には当たらないとの結論に至った。

また、かねてから国に要望し、移駐計画が実施される上での重要な判断材料としていた安心・安全対策や地域振興策について、先般、市町への再編交付金が終了する34年度以降も、交付金制度が継続・実施されることが確認されたことに加え、県への交付金については、移駐後も負担が継続することを考慮した上で、増額やソフト事業への拡大を前向きに検討するとされており、

市町における事業の拡大も見込まれることから、総合的に判断すれば、騒音対策を含む市町への支援措置は拡充されるものと評価できる。

こうしたことから、本町議会としては、アジア太平洋地域における安全保障環境が厳しさを増す中、抑止力の強化と沖繩をはじめとする地元負担の軽減を図り、日米安保体制の一翼を担

うという自負から、米軍再編の目的を理解し、国の安全保障政策に協力し、空母艦載機の移駐を容認せざるを得ないと考える。

一方で移駐が実施されれば、岩国基地は配備される機数が極東最大級となり、航空機による騒音被害や米兵犯罪に対する住民の不安感、多数の米軍人等の増加により生じる地元自治体の新たな財政需要等を鑑みれば、著しい負担増が生じることになることから、引き続き、国が目に見える形で十分な負担軽減策を講じるなどの対応が望まれる。

本町議会は、住民生活の安定と地域の魅力ある発展を図るため、基地問題に対する基本的な考え方を堅持した上で、国に対して、質すべきことは質し、求めるべきことは求めるという断固たる姿勢で対処する所存である。

よって、国におかれては、下記の事項について誠意を持って対応されるよう、強く要望する。

1 新たな部隊の移駐等により、航空機騒音や安全性等の面で基地周辺住民の生活環境が現状より悪化することは容認できないこと。

2 NLPなど、激しい騒音被害をもたらす離着陸訓練の実施は容認できないこと。

3 基地を抱え続ける地元の実情を踏まえ、国の責任により、住民の不安解消を図るための安心・安全対策や、基地の存在そのものの負担と我が国の平和と安全への貢献に見合う特段の地域振興策に配慮すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年6月27日

山口県周防大島町議会

(提出先)

衆議院議長 参議院議長

内閣総理大臣

内閣官房長官 外務大臣

防衛大臣

一般質問

「うーん」
知りたい！
聞きたい！



吉村 忍 議員

B&G 海洋センタープールの
温水化について

▲ B&G 海洋センタープール

問 現在、B & G 海洋センタープールは、屋根のついた全天候型の能力を十分に発揮できていない状況である。町内の小中学生をはじめとし、多くの町民のスポーツ活動の推進及び健康づくりのため、一年を通して水泳ができるよう、B & G 海洋セン

タープールの温水化を求める。

答 徳島県と愛媛県の温水化したB & G 海洋センタープールに問い合わせ、施設整備事業及び年間維持費等の資料収集を行った。周防大島町の水泳界の未来を担う子供達が、指導者と共に懸命に取り組む姿は、頼もしい限りではあるが、参考とした施設の温水化に係る事業費、年間維持費、事業効果については、単純比較できないものの、相당한財源が必要であることは確かであり、利用者増による事業効果とのバランスを考えると、現況において、温水化することは、非常に難しいと判断するところである。

子供達の地域での生活をより安全で楽しいものにするについて

問 5月19日に城山小学校で行われた、ふれあいの会において、「船越バス停付近は登校時、交通量が多いので横断歩道が欲しい」「外入派出所から外入漁港

の入口までの道路がとても狭く怖いので広くして欲しい」との要望があった。児童達が望む横断歩道の設置と、当該道路を児童達が安全に登下校でき、地域での生活をより安全で楽しいものにできる方法を検討して頂き、事故が起らないうちに早期に実現して欲しい。

答 「船越バス停付近の道路」については、本年度の危険リストにあげ、教育委員会から各関係機関の方に協議を頂くよう進めたいと考えている。「外入派出所から外入漁港入口までの道路」の拡張、歩道の設置については、既に通学路の危険個所リストにあがり、関係機関における合同点検箇所の対象となっているが、教育委員会からも継続して協議を頂くよう要望していく。

橘総合センター駐車場の冠水について

問 昨年6月22日の集中豪雨時に当駐車場が水没し、近隣住宅が床下浸水寸前になっていた。当駐車場の排水状況はとても悪く、大雨の際にはエンジンポ

ンプを手動で始動させ、排水させるシステムだが、現在、誰がどのような判断でエンジンポンプを稼働させ管理しているのか。また、現在の管理体制で今後冠水を防ぎ、近隣住民の安全と財産を守ることができるのか。

答 当駐車場は土地が低いため、大雨時には、周辺地域の冠水による被害を減少させるための遊水池としての機能を維持している。ポンプの稼働については、大雨警報が発令された場合には、夜間、土日・祝日も教育委員会の職員が待機し、駐車場に溜まる雨水の量を確認しながら、状況に応じ排水している。



今後大雨時における周辺地域の被害軽減のため、駐車場は冠水しても遊水池としての機能を維持し、教育委員会職員での対応を継続していきたいと考えている。

▶ 橘総合センター駐車場と前面道路の冠水

町政を問う！



吉田 芳 春 議員

保育料の完全無料化で
もっと子育てを！

問 現在、同時入所の場合、2人目以降は保育料が無料になっているが、本町が子供と子育てを全力で応援する町づくりを目指している観点からも、同時入所という要件を撤廃し、1人目からの無料化で、もっと子育て支援の充実を図る必要がある。公立保育所の民営化については、「民間にできることは民間で」という考えに沿って、一般財源の経費を捻出し、保育料の無料化に取り組んでいる自治体がある。本町も節減した経費を財源として保育料の無料化に取り組み、子供を産み育てやすい環境をつくって、子育て世代を

町に呼び込み、将来的には移住定住の増加につなげなければならないと考える。

この保育料の無料化と公立保育所の民営化、または廃止について見解を問う。

答 蒲野保育所については、今年度の入園者が6名であり、同一年齢の園児が1人または2人という状況である。このため、保育所における集団的な活動も困難となっている。

町全体の園児数も減少しているので、ご提案のように「民間でできることは民間で」運営していたことも必要ではないかと考えている。

人口減少に伴い地方交付税の減額など、財政事情は非常に厳しいものが予想されており、保育料の無料化については、恒久的な財源の確保が重要で慎重に検討すべき課題である。



ゴミの不法投棄対策を！

問 ゴミの不法投棄は、大規模農道や農地保全道路脇の荒廃地、国道437号線のパーキング等で多く見受けられる。本町は、観光交流人口100万人を目指し様々な活動を行っているが、ゴミの問題はイメージダウンにもなりかねない。

そこで、ゴミの不法投棄の未然防止と撲滅を図る取り組みについて問う。

問 不法投棄の未然防止には、個人の規範意識に頼らざるを得ないところがあり、現状では、

これといった効果的な対策がなく、町としても苦慮している。

不法投棄の発見や通報を受けた場合は、保健所や警察など、関係機関との連携を図りながら迅速に対処することで解決に努めており、保健所においては「不法投棄ホットライン」を開設し、24時間体制で情報収集を行っている。

今後も不法投棄に対する注意喚起や啓発に努め、保健所や町職員、保健所が委託した警備会社や不法投棄監視員によるパトロールの強化に努めたい。



町政を問う！



田中豊文 議員

情報公開条例について

問 開示決定までの期間を30日と定めた法制上の根拠について問う。

答 殆どの自治体が15日程度に開示すべきと定めているし、情報公開に対する社会の要請は合併当時とは大幅に変化している。町民の知る権利を守るためにも速やかな条例改正が必要ではないか。

答 合併時の検討では、分庁方式をとることから30日に決定したものであり、その現状は変わっており、公開請求のあった9割以上について15日以内に公開するか否かの決定をしており、条例改正の必要はないと考えている。

入札制度改革と技術アドバイザーについて

問 行政として主体的に説明責任を果たすため、入札制度の透明性や公正性を高め公共調達の質を高めることへの認識を問う。職員の技術力不足を補い、効率的でより良い公共調達に資するための技術アドバイザーの導入について提案する。

答 入札結果等はホームページで公表し、客観性を高める取り組みを行うと共に、総合評価競争入札の試行にも取り組んでいる。専門職の採用や研修等により職員の技術力向上に努める。

公民館等の使用料統一とワンストップサービスについて

問 施設により異なる使用料や手続き方法を統一し、どこでも空き状況の確認や手続きが行えるよう、インターネットの活用も含めたシステムの構築と条例改正について問う。

答 旧4町の料金体系を引き継いだもので、使用料の統一は困



▲ 久賀 短歌の会

難だが、今後の課題ではある。ワンストップサービスについては、利用者にとって大変利便な体制になるものであり、条例の統一を含め、今後課題整理を踏まえて検討していきたい。

※ワンストップサービスとは

複数の部署・庁舎・機関にまたがっている行政手続きを一ヶ所で行えるような環境をワンストップサービスといいます。

情報通信技術の発達している近年では、インターネットサービスを通じて、多数の官公庁に出かけることなく、公的サービスの手続きを行うことも可能になりつつあります。

職員の接遇力向上について

問 仕事の基本である「挨拶」を大切にして思いやりをもって接することは、町民に信頼される役場づくりの第一歩であるが、接遇力の向上について認識を問う。

指定管理施設での実地研修について提案する。

答 これまでの指摘も踏まえ、接遇力向上に努めていく。

実地研修の必要性は理解するが、従前どおり接遇研修への斡旋等により、接遇力の向上を図る。

指定管理者の公募について

問 指定管理者制度の運用について今年度の公募においてどのような方針なのかを問う。これまでの検証が必要であるし指定管理料の積算や修繕料に関する改正の必要性について問う。

答 公募・非公募の見直しなど制度運用については当面現行どおりとし、競争性・公平性・透明性が確保・維持される制度運用に努める。

町政を問う！



砂田雅一 議員

「服部屋敷」の利用について

問 「服部屋敷」は一般的な公共施設とは性質を異にする文化的・伝統的・民俗的な価値のある施設であるから、利用しやすくすべき。

答 今後、利活用についての検討委員会（仮称）を立ち上げていきたい。

問 検討委員会に期待すると同時に、今すぐに行える改善の為に予算化を求める。

答 駐車場の水たまりや、樹木の整備などは今後の検討課題とする。

「暮らしの便利帳」の発行について

問 町内の事業者に対して、町



▲ 服 部 屋 敷

の封筒で町長名の文書を送り、「暮らしの便利帳」に掲載する広告募集を行っている。発行費用の全てを広告料収入でまかない、町費は全く支出していない。

答 広告の募集は、強引な勧誘を行わないことを会社側と申し合わせている。行財政改革の一環でもあり、官民協同事業として取り組んだ。

問 官民協同ではなく、「民」と考える。安くても6万円以上

の広告料を募集すると、事業者の暮らしを直撃する。今後もこの方法で行うのか。

答 今後のことは分からない。

岩国基地への艦載機の移駐について

問 米軍機の数が約2倍になり、騒音被害が大幅に増える。移駐に賛成することは「米軍機の騒音は何とかして欲しい」という町民の願いを踏みにじることになる。国から交付金をもらうことと、移駐を認めることを取引するのは、町民の気持を代弁することにはならない。キツ

パリと反対するよう求める。また、住民説明会や住民投票条例などで、町民の方々の声を直接聞くべきと考える。

答 今定例会の会期中に判断する。騒音は、現状よりひどくなるという懸念は持っている。騒音による負担以上の魅力的な支援策は必要と思う。

学校の統合について

問 5ヶ所全ての説明会に参加したが、「統合ありきの議論」人

口定住策に逆行する」「未就学のお子さんをもつ保護者の意見も聞くべきだ」などの意見も出された。

また、10年以上先の平成40年に大島中をなくすことを、今決めることに對しても、多くの異論が出された。

どうお考えか。

答 全体としては統合案に理解をいただけたと思う。大島中を10年後になくすことへの反対意見は、大島地区だけであった。

問 周防大島町公共施設等総合管理計画には「小学校について（統合を）計画する」とあるが。
答 必要に応じて働きかけていく。



防災チェックポイント

★風水害に備えて

防災対策特別委員会

非常用持ち出し品の準備・点検等は大丈夫でしょうか。

これからのシーズンは、台風や前線の影響で、**大雨、洪水、暴風、高潮**による自然災害が発生しやすい季節を迎えます。また、地球温暖化による異常気象は、ゲリラ豪雨等により想像を絶する被害をもたらします。

自主防災組織を結成している地域の皆さんは、今一度内容を再認識し、訓練を思い出し、地域で声を掛け合い一体化した活動をする事は安心・安全な防災行動に繋がります。

周防大島町では、町民の皆さんが早めの避難などの防災行動をとることのできるよう、『**防災無線**』・『**防災メール配信システム**』で気象情報や避難所の開設情報等を提供しています。これらの情報を有効に活用し、早め早めの防災行動をとるようにしましょう。

また、状況に応じて2階へ移動する事（垂直避難）も大切な防災行動です。

ハザードマップは常に見やすい所にありますか。

避難するときも安全ルートを通して移動できるよう、自宅から避難場所までの避難経路を記入しておきましょう。ハザードマップの過信は禁物ですが、危険箇所の確認は重要なチェックポイントです。

風雨が強くなる前に、戸締りや窓ガラス等の飛散防止策や補強、側溝や排水溝の掃除等、建物や屋外の対策もしておきましょう。



～非常用持ち出し品 チェックリスト～

ペンを持って確認してみましょう！

項目をチェックしてみましょう

- ☐ 飲料水
- ☐ 非常食
- ☐ 貴重品（預金通帳、印鑑、現金）
- ☐ 常備薬
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 衣料品
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 携帯電話、予備電池
- ☐ タオル
- ☆小さな子供がいる家庭は
- ☐ 粉ミルク
- ☐ ほ乳びん
- ☐ 紙おむつ
- ☆ペットがいる家庭は
- ☐ ケージ
- ☐ ペットフード
- ☐ ふん尿の始末用品

用意!!
実行しましょう



避難時の心得と注意

- テレビ・ラジオの台風情報、高潮警報に注意しましょう。
- 高潮浸水・土砂洪水災害等、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

- 隣近所に声を掛け合い、単独行動は慎みましょう。
- お年寄りや身体の不自由な人は、背負うなどして一緒に避難しましょう。

あなたの地域の避難先は？

今一度確認しましょう！

やまぐち元気生活圏づくり 『白木半島地区コミュニティ協議会』



伊崎・地家室・佐連・沖家室・大積・小積の6自治会（人口約400人）及び各種団体等の参加と協働により、地域づくりの母体となる白木半島地区コミュニティ協議会が、4月21日に設立されました。

著しい人口減少と高齢化率68%という地域ではありますが、日本最大規模の群生を誇るニホンアワサングを始めとした豊かな自然環境、そして歴史と文化を活かし、地域住民が当事者意識を持って、移住者を含めた新たなコミュニティづくりに頑張っていたきたいと思います。

『夢プランの作成へ 向けて』

毎月、地域づくり計画策定委員会を開催することになっており、5月25日には佐連会館で講演会、6月28日からは出雲市への先進地視察が実施され、関係自治会の全世帯には、今年度、地域将来計画「夢プラン」の配布が予定されています。

『夢プランの実践』

住民の暮らしを支援するため、地域住民による活動組織を設置し、生活環境の改善等、早期着手を必要とするものは事業が実施される予定です。

なお、地家室地区では古民家を改修したサテライトオフィスの開設が予定され、また、空き家を大規模に改修した宿泊施設では地域交流が始まっています。

周防大島町が抱える一番の課題に正面から向き合い、そして地域づくりのモデルとなつて、この取り組みが町内全域に広がり、今後の移住定住促進につながるよう期待しています。



議会活動報告

議会の活動を時系列でご報告します。今回は4月16日から7月17日までの3ヶ月間の活動報告となります。

月日 【内 容】（場所・出席・参加者）※議席順

4月19日 周防大島町小・中学校長会（荒川）

4月20日 大島郡連合婦人会総会（荒川）

〃 大島・三蒲・沖浦地区合同戦没者慰霊法要

（藤本、松井、尾元、久保、荒川）

4月21日 白木半島地区コミュニティ協議会設立総会（荒川）

4月25日 例月現金出納検査・定期監査（尾元）

4月27日 例月現金出納検査（尾元）

〃 周防大島幹部交番及び森野警察官駐在所開所式

（新田、平野、荒川）

4月28日 大島郡体育協会平成28年度収支決算会計監査（久保）

5月1日 2市2町議会正副議長・事務局長会議（小田、荒川）

5月10日 山口県町議会議長会平成28年度監査（山口市：荒川）

〃 戸田地区祭（荒川）

〃 大島郡体育協会役員総会（久保）

5月11日 定期監査（尾元）

5月13日 第33回東京大島ふるさと会（東京都：藤本、荒川）

5月22日 (株)モノササテライトオフィス進出協定調印式（荒川）

〃 単位老人クラブ会長・女性部長役員総会（荒川）

5月22日 例月現金出納検査・定期監査（尾元）

5月23日 第1回周防大島町定住促進協議会（平野）

5月23日 岩国基地問題に係る平成29年度の活動方針の協議及び要請活動（東京都：荒川）

5月24日 例月現金出納検査（尾元）

〃 周防大島町商工会第12回通常総代会（小田）

5月31日 全国町村議会議長・副議長研修会（東京都：小田、荒川）

6月5日 議会運営委員会

〃 第1回臨時会（本会議）

〃 岩国基地関連対策特別委員会

6月8日 戦艦陸奥殉難将兵慰霊祭（吉村、新山、小田）

6月13日 第1回周防大島町人権教育推進委員会（久保）

6月14日 議会運営委員会

6月15日 地域婦人会リーダー相互研修会（荒川）

6月16日 例月現金出納検査（尾元）

6月19日 例月現金出納検査・決算審査（尾元）

〃 大島看護専門学校載帽式（荒川）

6月21日 第2回定例会（本会議）

6月22日 アロハキャンペーン2017開幕セレモニー（荒川）

6月23日 第2回定例会（本会議）

〃 全員協議会

〃 周防大島高校を支援する会定例会（久保）

6月26日 全員協議会

〃 岩国基地関連対策特別委員会

〃 議会運営委員会

6月27日 第2回定例会（本会議）

6月28日 議会広報編集特別委員会

6月29日 例月現金出納検査・決算審査（尾元）

6月30日 海開き（逗子ヶ浜、片添ヶ浜海水浴場）（吉村、荒川）

7月2日 第13回広島・周防大島町人会
（広島市：藤本、新田、尾元、久保、小田、荒川）

7月3日 決算審査（尾元）

7月4日 山口県町議会議長会 7月定例会（山口市：荒川）

〃 山口県離島振興市町議会議長会第1回臨時会

（山口市：荒川）

〃 議会広報編集特別委員会

7月6日 決算審査（尾元）

7月8日 「小さな親切」運動 大島支部総会（荒川）

7月9日 第24回サザンレク片添山口県知事杯

ビーチバレー大会開会式（荒川）

7月10日 決算審査（尾元）

= 議員派遣 =

◆ 柳井地区広域市町議会議員研修会

構成市町議会における相互の連携と地方自治の発展
に寄与するための研修

7月24日（月） アンバーサリーステージ ベルゼ

演題 柳井地区広域圏の活性化について

講師 山口県知事 村岡 嗣 政 様

◆ 山口県町議会議会実務研修会

議会実務に関する研修

8月30日（水） セントコア山口

演題 これから求められる町村議会の役割

講師 駒澤大学法学部教授 大山 礼子 先生

7月11日 岩国基地に係る要請行動（東京都：荒川）

7月12日 建設環境常任委員会

7月13日 決算審査（尾元）

〃

山口県社会教育委員連絡協議会総会及び研修会

（山口市：久保）

7月15日 星野哲郎記念館開館10周年記念えん歌蚤の市

星野哲郎メモリアル篇前夜祭（荒川）

7月16日 星野哲郎記念館開館10周年記念えん歌蚤の市

星野哲郎メモリアル篇（荒川）

第33回 東京大島ふるさと会

5月13日、東京都千代田区の東京グリーンパレスで、第33回東京大島ふるさと会総会・懇親会(秋葉日出人会長)が開催されました。

東屋代西蓮寺の藤本浄彦住職によるミニ講演の後、周防大島町の町政報告と椎木町長及び荒川議長からのあいさつがありました。

約70名の参加者がふるさとを懐かしみながら交流を深め、ふるさとを思う純粋な気持ちと多くの期待を感じることができた一日となりました。



議会広報 編集特別委員会

委員長 新山 玄雄
副委員長 藤本 浄孝
委員 新田 健介
吉村 忍
平野 和生
松井 岑雄
久保 雅己

また、これからの季節は大雨や台風による土砂災害や高潮が心配されます。防災委員会からのお知らせもご覧いただき、日頃からの備えを行いたいものです。
(藤本 浄孝)



編集後記

木々の緑が映え、暑さが厳しい季節となりました。この度の定例会も様々な議案、意見書について慎重に審議を行いました。

多くの問題に對峙しながらも、町の未来を思う気持ちに各議員相異なく、今後も前向きな議論が必要と感じました。今後、議会の活性化を目指し、更なる行政への監視、役割を大切にしてまいります。



周防大島町ホームページ

<http://www.town.suo-oshima.lg.jp>

議会広報・議事録を公開しています。議事録は各図書館にも備えています。